

波濤

第 2 8 号

学会会成
窓 員 一
同 委 一
奈 務 嵐
送 十 平
行 編 責 発
放 集 任 行
神 總 者 日
奈 五 平 成
川 十 成 1
学 嵐 6 年
会 一 9 月
成 1 日
員 数 8 3 5 名 (平成16年9月1日現在)



神奈川学習センター所長
森谷 正規 教授

森谷 正規 所長より
就任のご挨拶を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

この4月から、神奈川学習センターの所長に就任いたしました。同窓会のみなさんが活発に活動していらっしゃるのを聞きまして、誠にありがとうございます。私もみなさんのご活動にお役に立ちたいと考えております。

私は、技術問題の全般にかかわる仕事をしておりませんが、技術というものをお考えいただくきっかけになればと、私の仕事の内容を紹介させていただきます。

「仕事」と言っても、「研究」とあえて言わなかったのですが、私は大学での同僚の先生方とは違う経歴を持っておりまして、造船会社に5年いた後に、野村総合研究所に入社して、技術に関連する調査研究の仕事をさせていただきました。したがって、アカデミックな研究の経験を持っておりません。野村総研を辞めた後は、技術評論家として、講演、執筆の活動をしてきました。縁あって、平成6年から放送大学の教壇に立つ、のびなく、テレビ、ラジオで話すことになりました。

放送大学での授業は、野村総研時代から持っていた技術に対しての私の問題意識に關係があります。その二つを紹介しますが、一つは、比較技術論です。これは、国によって技術のあり方が異なっていることに着目して、その対比について研究するものですが、じつはこれは私が世界でも始めて提唱したものです。その技術の相違は、国民性、生活習慣、経済発展レベル、社会体制、資源状況などによって生じるものであり、その関連性が研究の対象になります。

比較言語学、比較法学、比較宗教学、比較文明学などいろいろありますが、比較技術論は比較文明学にもっとも近く、私はその学会の会員になっております。

放送大学では、学部で「比較技術の文明論」の授業を行っています。アメリカは、なぜ国際競争力が強くなくて巨額の貿易赤字を出しているのか、韓国はなぜ、先端技術でも日本を破るほど強くなったのか、中国はどこまで工業発展をするのか、イスラム世界は、近代工業にいつまでも遅れ続けるのかなど、重大な問題について深く考える基盤を提供するものです。まさしく、文明の視点から考えるべき問題です。

二つめは、技術と社会の關係です。技術は「家庭」「産業」「社会」に向けられますが、これまでの技術発展では、「家庭」と「産業」にばかり向けられて「社会」には強くは向いてきませんでした。それがいま、環境破壊、廃棄物、交通渋滞、交通事故、通勤地獄、防災の不備、ヒートアイランド現象、教育、医療、福祉の遅れなどの社会問題を深刻化させてきた大きな理由です。

私はこの十数年、社会に技術を向けようと言ってきました。残念ながらどれもベストセラーにはなりませんでしたが、着実にその方向に向いてきています。

放送大学では、大学院で「技術社会關係論」の授業を行っています。技術と社会の複雑な關係を把握して、技術が社会に向くような仕組みを作るといのが主旨です。このような論も、世界ではほぼ初めてではないかと考えます。その仕組みを作るのは、政治です。これから、技術と経済よりも、技術と政治の問題がより重要になります。それを主題にした本を書き終えており、十一月に「朝日選書」で出版します。

お仕事が技術に關係がある方はもちろん、そうでない方も、技術についてこのような視点での關心を持っていただければ幸いです。

第十五回

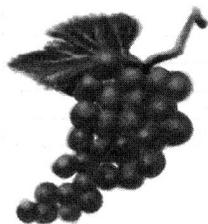
通常総会報告

第十五回放送大学神奈川学習センター同窓会通常総会は、平成十六年五月十六日(日)午後一時から神奈川学習センター第七講義室において開催された。笠井理事の司会により、議長団及び書記団選出の後、次の議案が提出され審議された。

- 一、平成十五年度活動報告
 - 二、平成十五年度収支・決算報告及び監査報告
 - 三、平成十五年度フォスター・プラン活動報告
 - 四、平成十五年度フォスター・プラン収支・決算報告及び監査報告
 - 五、平成十六年度活動計画(案)
 - 六、神奈川学習センター同窓会ホームページ開設
 - 七、平成十六年度収支・予算(案)
 - 八、平成十六年度フォスター・プラン活動計画(案)
 - 九、平成十六年度フォスター・プラン収支・予算(案)
 - 十、神奈川学習センター同窓会名称変更(案)
 - 十一、平成十六年度役員選任(案)
- 以上十一件の議案は賛成多数で原案通り可決承認されました。

【総会成立の確認】
会員総数 八三〇名

(平成十六年三月三十一日現在)
出席者数 四十一名 委任状数 二六七名
合計 三〇八名
会則第十二条により総会は成立しました。



平成十六年度活動計画

本会は、会員の親睦 情報の交換 相互研鑽 社会への貢献 放送大学の発展に寄与すること等を目的として、魅力ある同窓会となるよう次のことを行う。

一、講演会開催 五月十六日(日)

(総会終了後)

演題 宇宙のロマン・最近の天文学のトピックスと星空への誘い

講師 放送大学非常勤教員

佐藤英男 先生

(終了後、懇親会を開催)

二、六月二十日(日)

情報家電とネットワーク技術の展望と将来

～ブロードバンドとユビキタス 時代を迎えて～

講師 三菱電機情報ネットワーク(株) 和田正純氏 (同窓生)

三、八月二十九日(日)フェスタ横浜共催

四、十月三日 卒業祝賀会の共催及び新規会員の募集活動実施

五、十月 鎌倉散策

(詳細は波濤の企画により)

六、十一月 講演会 『禅と心』

七、二月 映画鑑賞会

(詳細は波濤の企画により)

八、三月 卒業祝賀会への参加及び新規会員の募集活動実施

九、役員会開催(年々九回予定)

十、会報「波濤」発行(年二回)

十一、フォスター・プラン活動への参加

(発展途上国の子供とその家族、地域に対する経済的 精神的援助を目的とする。活動は主にフォスター・プラン実行委員会による。)

十二、その他

放送大学同窓会連合会への参加

会計報告

[平成 15年度収支決算書]

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:円)

[平成 16年度予算書]

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:円)

1 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)前年度繰越金	3,791,992	3,791,992	0	会員名簿引当金20万円含む
(2)本年度収入	1,191,000	666,780	△ 524,220	
① 入会金	250,000	105,000	△ 145,000	入会者21名
② 年会会費	835,000	455,000	△ 380,000	会員延べ口数455口
③ 寄付金	5,000	6,780	1,780	
④ 利子	1,000	0	△ 1,000	
⑤ 会員名簿引当金	100,000	100,000	0	会員名簿引当金3年目
合 計	4,982,992	4,458,772	△ 524,220	

1 収入の部

科目	予算額	摘要
(1)前年度繰越金	3,520,832	
(2)本年度収入	1,186,000	
① 入会金	250,000	入会者50名
② 年会会費	830,000	会員 830名
③ 寄付金	5,000	
④ 利子	1,000	
⑤ 会員名簿引当金	100,000	会員名簿引当金4年目
合 計	4,706,832	

2 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)本年度経費支出	1,360,000	937,940	422,060	
A 活動費	400,000	207,278	192,722	
① 会報費	200,000	128,980	71,020	波濤印刷26号、27号
② 活動運営費	150,000	64,370	85,630	講演会、見学会、フォスター・プラン、社会貢献
③ 卒業祝賀運営費	50,000	13,928	36,072	9月卒業祝賀会補助
B 事務運営費	960,000	730,662	229,338	
① 連合会活動費	0	0	0	
② 会議費	20,000	6,534	13,466	役員会、総会資料
③ 交通費	100,000	86,640	13,360	役員会、連合会交通費
④ 通信費	300,000	270,500	29,500	総会資料、波濤発送
⑤ 振替手数料	30,000	28,980	1,020	会費等振替手数料
⑥ 消耗品費	20,000	4,824	15,176	宛名ラベル、事務用品
⑦ 交際費	20,000	2,100	17,900	事務センター挨拶、対外交際費
⑧ 雑費	20,000	3,874	16,126	備品代
⑨ 事務機器購入費	250,000	227,210	22,790	ノートパソコン、プリンター等
⑩ 予備費	100,000	0	100,000	
⑪ 会員名簿引当金	100,000	100,000	0	5年毎発行の名簿作成費用として3年目
(2)次年度繰越金	3,622,992	3,520,832	102,160	
合 計	4,982,992	4,458,772	524,220	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
(1)本年度経費支出	1,260,000	
A 活動費	400,000	
① 会報費	200,000	会報「波濤」印刷
② 活動運営費	150,000	講演会、見学会、フォスター・プラン、社会貢献等
③ 卒業祝賀運営費	50,000	9月卒業祝賀会補助
B 事務運営費	860,000	
① 連合会活動費	0	
② 会議費	20,000	役員会、総会資料
③ 交通費	100,000	役員会、連合会交通費
④ 通信費	300,000	総会資料、「波濤」発送費
⑤ 振替手数料	30,000	会費等振替手数料
⑥ 消耗品費	20,000	宛名ラベル、事務用品
⑦ 交際費	20,000	事務センター挨拶、対外交際費
⑧ 雑費	20,000	備品代
⑨ HP準備金	150,000	新規HP作成準備金
⑩ 予備費	100,000	
⑪ 会員名簿引当金	100,000	引当金4年目
(2)次年度繰越金	3,446,832	
合 計	4,706,832	

備品目録	パソコン及びプリンター各1台	平成10年購入
	"	平成15年購入

平成15年度フォスター・プラン収支決算報告

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
収				
1 前年度繰越金	911,820	911,820		援助金基金を含む
2 寄付	320,000	279,000	△ 41,000	130件(内127件は振替口座)
3 同窓会より助成金	10,000	10,000	0	
4 貯金利子	300	34,363	34,063	定期 34,344円、普通 19円
本年度収入計	330,300	323,363	△ 6,937	
合 計	1,242,120	1,235,183	△ 6,937	
支				
1 援助金	300,000	285,000	15,000	5人分(H16/1～3月間は4人分)
2 活動費	10,000	0	10,000	
3 事務費 (1)	10,000	8,890		口座手数料 @70/件
4 事務費 (2)		3,089	△ 1,979	振込用紙印刷代、他
5 通信費	10,000	8,760	1,240	切手・ハガキ・封筒代など
本年度支出計	330,000	305,739	24,261	
次年度へ繰越	912,120	929,444	17,324	
合 計	1,242,120	1,235,183	6,937	

平成16年度フォスター・プラン収支予算(案)

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	摘要
1 収入の部		
(1)前年度より繰越	929,444	援助金基金 30万円を含む
(2)寄付	320,000	前年度決算額参考
(3)同窓会より助成金	10,000	
(4)貯金利子	50	
平成16年度収入計	330,050	
合 計	1,259,494	
2 支出の部		
(1)援助金	300,000	チャイルド5人分
(2)活動費	20,000	
(3)事務費	10,000	
(4)通信費	10,000	
小 計	340,000	
次年度へ繰越	919,494	援助金基金 30万円を含む
合 計	1,259,494	

平成十六年度F・P活動計画

本同窓会では、活動目的のひとつである「社会への貢献」の一環として、平成三年十二月から(財)日本フオスター・プラン協会(JFP)が行っている「フオスター・プラン」に参加しています。

「フオスター・プラン」は、アジア・アフリカなどの発展途上国で、子供を取り巻く環境改善を目的として、保健・衛生・居住環境の改善、教育・人材の育成、技術開発など多岐にわたるプロジェクトを実施して地域開発を進めています。

フオスター・ペアレントから送られる援助金は、フオスター・チャイルドやその家庭を支援するだけではなく、地域で実施するこれらのプロジェクトに役立てられています。また、子供とその家族・地域に対する精神的援助も行っています。

本会では、この趣旨に賛同する会員の皆様からの寄付金を基に、フオスター・ペアレントとして現在五人のチャイルドを支援しています。今年度も引き続き以下の支援活動を行います。

- 一、フオスター・チャイルド五人への資金援助と、文通などによる交流
- 二、同窓会会員への募金活動
(年一回「波濤」に振込用紙を同封)
- 三、講演会・勉強会の開催
- 四、広報活動の促進
参考資料(チャイルドの写真、手紙、成長記録など)のパネル展示
学習センター談話室

「フエスタ・ヨコハマ」会場等

会報「波濤」に活動報告を掲載
チャイルドの母国大使館や関係機関との情報交換及び、チャイルド訪問の検討

六、実行委員会の開催

フオスター・プラン活動報告

二〇〇四年 秋

春の「波濤」に五名のチャイルドを紹介しましたが、この半年の間に二人のチャイルドが交代しました。バングラディッシュのピュチュルちゃん(5才)の家族がフオスター・プラン(F・P)活動への参加辞退を申し出たため、同じバングラディッシュのロジーナちゃんに代わりました。五才の女の子で両親との三人家族です。



〈バングラディッシュの
ロジーナちゃん 5才〉

又、一九九三年の十二月から私達のチャイルドであったケニアのルーシーちゃんの登録終了報告書が届きました。彼女の住むコミュニティは、生活状況を向上させるために懸命に活動した結果、著しい改善が見られたのです。人々は目標の達成を誇りとし、現在ではF・Pの支援がなくても活動を継続する体制が出来上がりました。F・Pはコミュニティ開発計画の目的が達成された時点で、依存体制を創り出さないために、F・Pは撤退する、という合意を最初に取り交わしています。十四才になったルーシーちゃんからはF・Pのお陰で教科書を受給し、家屋やトイレを建設できた事への感謝の手紙が添えられていました。ケニアでは新政府が発足し、無料初等教育が導入され就学年齢の子供達は全員学校に通っています。

ルーシーちゃんに代り、バングラディッシュのスパシユ君九才が仲間入りしました。私達がチャイルドを決める時、

国、性別、およその年齢はこちらで希望できますが、交代の知らせがあつてから二週間以内に返事が出せない時には、F・P協会の方で決めてくれるのです。

来年二月頃、バングラディッシュのチャイルドを訪問しよう、という計画が浮かんできましたので、ロジーナちゃんとスパシユ君、二人に会う事ができたらと思います。二〇〇〇年二月に、同窓会有志がタイのソムチャイ君を訪問した経験がありますが、具体的に決まりましたら参加者を募集しますので、是非一緒にチャイルドを訪問してみませんか。

同窓会では、「社会への貢献」の一環として、一九九一年よりF・P活動に参画し、発展途上国の子供達とコミュニティを支援しています。一三年間援助を継続できましたのは、皆様の暖かいご支援のおかげと感謝しております。今後共どうぞよろしくお願い致します。又、F・P活動のお手伝い頂ける方、その他のお問い合わせは左記迄ご連絡下さい。

神奈川同窓会 会長 五十嵐一成
090 - 2745 - 9406
フオスター・プラン実行委員 星 礼子 記



〈バングラディッシュのスパシユ君 九才〉

〈フオスター・チャイルド プロフィール〉

チャイルド名	性別	生年月日	年齢	国籍	援助開始年
ラビ・ナリゲ	男	1993.10.05	10歳	インド	2000.09
ジェンメイ・ドアン	女	1991.05.24	13歳	中国	2002.05
フェイザン	男	1995.06.10	9歳	パキスタン	2003.02
ロジーナ	女	1999.09.03	4歳	バングラディッシュ	2004.04
スパシユ	男	1995.08.10	9歳	バングラディッシュ	2004.07

連合会便り

第七回放送大学同窓会連合会総会が平成十六年六月十九日(日)に群馬学習センターにおいて開催されました。

平成十五年活動報告、決算報告、卒業祝賀・謝恩パーティーの報告等がありました。

伊藤新会長(千葉)から活動方針の説明があり、左記活動計画が決定しました。

【活動方針】

- ・前年度までに継承されてきた活動方針に沿って、活動の継続と発展をはかる。
- ・連合会活動の中心である関東甲信地区の連帯をさらに強めて、他の地区の同窓会とも協力しあい、同窓会全体のますますの発展を図りたい。
- ・全地区での同窓会設立の協力、助言、手伝いなどの実施。
- ・卒業祝賀謝恩パーティーの主催は連合会活動のなかで最大の事業であるので、各同窓会の協力を得て実行委員会形式を継承して運営していきたい。

佐藤 英男 先生 講演会

宇宙のロマン・最近の天文学の

トピックスと星空への誘い

講演を聞いて

谷合 初恵

神奈川学習センター同窓会総会に引き続き続いて、佐藤英男先生による天文学の講演がありました。

まずは、昨年地球に大接近したことで記憶に新しい火星の話から始まりました。その大きさは地球のおよそ二分の一、密度は四倍であるが重力が小さいため、大気があったとしても、みな宇宙に逃げてしまうとのことでした。

太陽系の惑星の中でも、地球と火星はよく似た兄弟星と言われることもあるけれど、大気をつなぎとめておくことが出来ないというのは、随分決定的な違いのように思われました。

後半は、この宇宙にあるあまたの星々や星雲、銀河の中からのいくつかをカラー映像で見せていただき、その美しさには時を忘れるほどでした。

星雲のガスの中から新しい星が誕生する様子とか、銀河どうしが衝突することもあるなど、想像を絶するスケールの大きさに、宇宙のダイナミックな営みを感じました。

最後に質問の時間も設けられましたが二名だけで時間切れになってしまい残念でした。

私たちは天文学というと、無限大、四次元、ビッグバンなど、派手な面ばかりが目が向いてしまいがちですけれど、例えば一つの星を望遠鏡で何年間も観測し続けるような地道な研究をもとに成り立っている学問のようです。そんなふうにして集められた膨大なデータから、この宇宙の姿が少しずつ



<佐藤先生の講演会>

わかってきており、観測機器の発達といままで、日々新しい発見がなされていることを思い、しばし大宇宙のロマンに浸ることの出来たひとときでした。

『ロマンあふれる天文学』

小山 佐枝子

五月十六日、第十五回同窓会総会に久しぶりに出席しました。懐かしい皆様の活発な同窓会活動に、心より敬服しました。また、第二部の講演会も、心をわくわくさせて拝聴いたしました。

「宇宙のロマン・最近の天文学のトピックスと星空への誘い」と題した、放送大学非常勤教員佐藤英男先生の講義を拝聴しました。

自然の理解を卒業したのは平成二年、自分なりに天文関係の本を読んだり、星を追いかけて海外に出かけたりと、そこそこ天文学にふれていたので、講

義を受けるといふことは久しくなかったことでも新鮮に感じ嬉しく思いました。

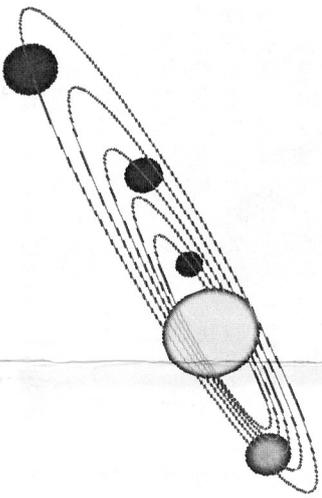
導入部は、まず去年十月に太陽系第十惑星『セドナ(2003VB12)』の発見について。新聞などマスコミ関係では、騒ぎましたが、観測の結果、惑星である諸条件が備わっておらず、惑星とは呼ばないと結論づけられ、残念な結果となり宇宙のロマンは消えうせました。

次に火星については、火星は地球以外の惑星で生命の存在が可能と推測される唯一の惑星のため、探査機を打ち上げました。探査機オポチュニティとスピリットは、大量の水があった証拠を地球に送信してきました。

NASAは大興奮となり、今年三月には大々的に「生物に適した環境」「水は地下に存在するかも」「生命誕生の条件に近づく」等々発表しました。

これは大ロマンであります。私も大望遠鏡を担いで去年八月大接近の火星を観測、撮影のためにオーストラリア・ケアンズまで出かけ大ロマンを満喫してきました。

さらに、スライドを使って太陽系が属している銀河系や外の銀河の数々を紹介、星々の誕生しているアンドロメダ銀河、オリオン座の馬頭星雲、いて座方向に観えるタランテラ星雲、琴座のリング星雲、乙女座のソルボレロ星雲、その他バラ星雲、球状星団等すばらしい星々を見せてもらいました。

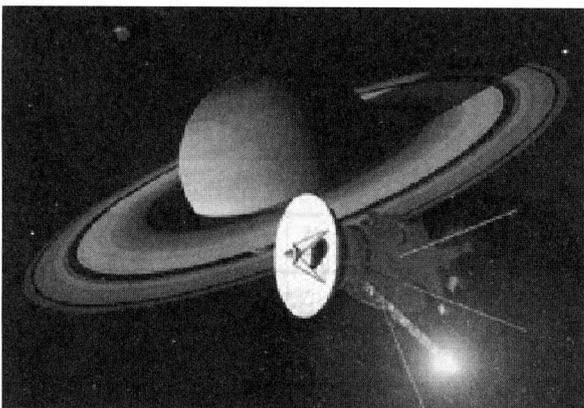


星は人間と同じように、生まれそして超新星爆発で死んでいくことなどに、大ロマンに改めて感動しました。宇宙という言葉を自分なりに、ちよこちよこ使っていたのですが、先生から宇宙とは万物を含むすべての広がりである(天文学的にはすべての天体を含む全空間)と聴かされたときには、宇宙の大きさを再認識させられ、敬服し、大ロマンを痛感しました。

私も今年五月ニート・リニアの二大彗星が同時に観測できるので、またしてもオーストラリア(エアーズロック)に出かけました。晴天に恵まれ観測三夜とも見事な南天を満喫しました。

南の天の川、南十字星、マゼラン星雲、黄道光、そして大きな流れ星を観測できた事は、まさに宇宙の大ロマンを感じた時間でした。

天文に心を惹かれて三十年、これからも宇宙の大ロマンを探して勉強し、望遠鏡をかって自分の人生をロマン溢れるものにしていきたくと思っています。



三菱情報ネットワーク(株)
和田 正純 氏 講演会

「情報家電と
ネットワーク技術の展望と将来」

ネットワーキング技術の展望と将来
〜ブロードバンドと
ユビキタス時代を迎えて〜

コンテンツいろいろ

・・・僕もスキルアップへ・・・

皆川 昭三

日常生活の中にすっかり貼り付いた通信ネットワークがみるみるうちに強い経済基盤を拡大し、根を張ってきた。折しも人々の関心は否が上にもそのような環境に囲まれて適応を試みる、学習欲も増大しているのではなからうか。インターネットに直面し、ブロードバンドにも意欲を示す御人も広がっている。今回同窓会主催で最適のテーマを掲げて講演会が開催され、してやったりと聴講に立ち寄った。「通信ネットワークの最新状況とユビキタス社会に向けて」誠に時宜を得た視点に感服しながら、静かにレクチャーの語りに耳を傾け興味をそそられる二時間だった。

詳しく述べるには紙面も不足すると思われるので、アイテムから凡その内容を察していただきたい。

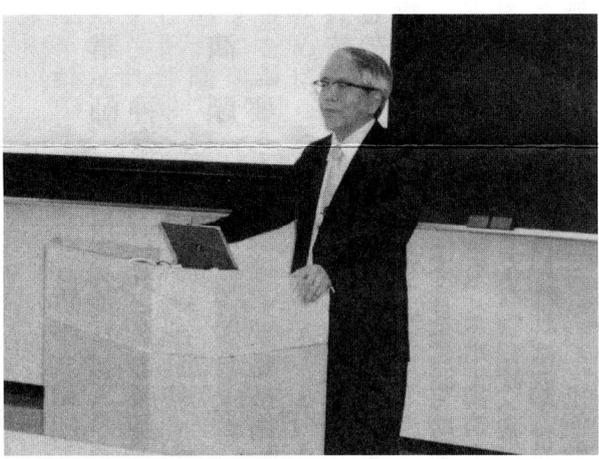
- 1・情報通信の状況
- 2・次世代ネットワーク
- 3・豊かな国民生活実現
- 4・文化の発展
- 5・情報セキュリティ

あらゆる情報の氾濫に惑わされず、正しい知識を習得し、利便性の高いサービス提供を充分に活用していかなければならない、サービス自在の超高速ネットワークが吾々の生活の周りにもたくさん入

り込み、吾々も無意識のうちに浸っているのである。講師曰く「ユビキタス時代を迎えて、私達も利便性を活用していく時なのだ」と力説する。

日進月歩の科学はまだまだ広がりを見せていく、今やインターネット利用の主流がブロードバンドに移る流れがあるようだ。その経済波及効果を知るデータや、携帯電話のインターネット対応率も世界一とのデータを示されて私の無知も一挙に吹っ飛び、いよいよ身近に極小ICタグが沢山埋め込まれている現実にもはや、デジタル化に驚いている場合ではないと認識させられた。

とに角、豊かな国民生活もレベルを越えて全く別世界に正面から向き合い、時代の流れに適応できる自分を造り上げてゆかなければならないと考えている。



＜和田 正純 氏 講演会＞

情報家電とネットワーク技術の
「展望と将来」の講演会に参加して

杉山 秀雄

去る六月二十日(日)午後二時〜四時まで神奈川学習センターの講義室で同窓会による表題の講演会が開かれた。副題は「ブロードバンドとユビキタス時代を迎えて」である。演題はいまをときめく先端複合システム情報関連であり、かなり大勢の参加を予想したが意外であった。参加者は小生を含め、おおよそ還暦過ぎと思われる男女が二十名くらいおられた。

講師は本学第二回卒業生の和田正純氏(現、三菱情報ネットワーク(株))であった。

小生はこの種の「同窓会活動」には、初参加である。幹事から本会への参加に対する感想文の提出を求められ、ちよつと戸惑った。しかし、参加した以上は、まとめて見ようと思ひペンを取った。

その前に、小生は本学の栄えある第一回(平成元年)の卒業生(産業と技術専攻)であり、その後、第八回(平成八年)も卒業(発達と教育専攻)し、現在は本学大学院修士科目履修生である。

当時(十六年前?)講師の和田氏とも当学習センターで、スクリーニングまたは単位認定試験のあいまに「言葉をかかわした」記憶がある。

さて、感想と一口に言えば、講演の内容は「情報通信白書」の抜擢から、そのポイントの紹介と言え。総論の主旨はともかく各論に濃密があり、ユビキタス、ブロードバンド、ADSL等々のデジタルネットワーク関連の最新技術用語が飛び交い、専門外の者には全体として理解が難しいと思われる。ともかく時間の割に、あまりにも盛りだくさんの内容ゆえに無理がある。

演題は先端複合システム技術であり、極めて広範囲かつ深遠な情報技術社会論である。

世にいう専門家と言われる方々でも、とても一人でハード・ソフトの技術面にわたり隅々まで掌握出来る問題ではないと思うからである。かくいう小生も、かつてはマイクロ波・ミリ波通信システム技術に携わっていたが、躍進するインターネットの世界、携帯電話の移動体通信システム、LSI等の半導体テクノロジー等々の最新技術の把握には、専門外であり、余程腰を据えてやらないと、在る程度?までとはいえない到達しない。

巷にはこうした情報ネットワーク関連の一般向けビジュアルな入門書があふれているが、全貌を理解するには「帯に短し、たすきに長し」著者により「群盲象をなでる」の感なきにしもあらずである。難解な数式のある専門書ではなく、もう少し踏み込んだ一般向けの解説書があればと思う。

講演者の和田氏は膨大な白書の中から資料を手際よくまとめられ、時間中は淡々とポイントを話され、その熱意には敬意を表します。

また、参加者各位の、熱心な取り組みにはあらためて感激しました。



過去十年ほど天候で危ぶまれた事の無かった学園祭でしたが、今年は台風の影響で最後まで開催が危ぶまれました。しかし、学校側の協力もあり八月二十八日(土)・二十九日(日)雨の中、屋内で開催されました。

昨年同様二十八日(土)には囲碁将棋大会が行われ静かな熱い戦いが繰り広げられました。

二十九日(日) 午前は神奈川学習センター所長 森谷 正規 教授が「要らない技術、要る技術」と題して講演されました。

午後は第六・第七講義室と談話室前のロビーにて交流会が催され、今年新たに合唱団の参加が加わりました。同窓会は今年もビンゴ大会を担当し盛り上がりに一役買いました。

室内ということもあり音響もよく、狭いながらも程よい交流会になり台風のことを一瞬でも忘れてしまうほどの活気溢れる夏の風物詩「フェスタ・ヨコハマ」になりました。

片づけの終わった学習センターには静寂が戻り、激しくなる雨が祭りの後の静けさをいっそう強調するかのようでした。



<ビンゴ大会の風景>

講師

神奈川学習センター所長

森谷正規 教授

竹中 司朗

演題

『要らない技術、要る技術』

技術者なら一瞬ギョーとするタイトル、しかしこの様な言葉をさらりとと言える人物は？

会社勤めでこんな本音を言おう物なら寄って集って潰される、スポーツでも気力と体力が勝負、そんな物、吹っ飛ばしたらと、あつさり言われれば返す言葉は無い。

しかし、現実には意志を通そうとすると転勤させられ、つまらん上司の面倒を見させられて、給料では差別された結果じわじわと生活から締め上げられる、これが日本の現状、そしてそのカリスマ経営が日本株式会社を今まで引っ張って来た。決めた事は文句を言わずにやれだ。これが今変わっている、いや変わらなないと日本はこの不況から立ち上がれないのだ。問題の森谷教授が神奈川学習センターにやってきた。相当な経歴らしい、天気が悪く出席者は少ないとの予想に反して、相当数用意した会場の椅子が不足する位だ、当然他の学習センターからの出席者も多数と見た。

本題の内容は、要らない技術と言うのは目的のない技術、例えば、ロボットなどは要らないと来た、今注目されている人間ロボットの事だ、私も工業ロボットは評価しているが人間ロボットは批判的である。しかし教授はこのロボットの2足歩行の制御を物にした日本の技術には多大の評価を忘れない、重量バランスを自由に制御出来る技術はロボット以外に

使用したい。

リニヤモーターについては懐疑的だ、理由は新幹線並に3分毎に車両を線路に走行させて、収支を追求すると、技術的に問題が発生する、のぞみ、光、こだま、と走らせると駅でポイント切替が必要になる、しかしリニヤーは構造上、駅での線路の分岐が出来ない、と言うより不可能に近い。結果設置費用が三倍になり経済的に合わなくなる、明快な返事を得た。

最後に、エネルギーを発生しようとする公害が発生する。環境汚染を考えるとせめて太陽エネルギーを利用して発電し、今のエネルギーの十十五%を賄えば良いのだが。地球に降り注ぐ太陽光の様にエネルギー密度が低いとそれを利用するには費用が掛かる、当分は原子力発電はやむを得ないかと、現実を見つめた発言があった。



<森谷先生の講演会>



<講演会の風景>

教授の発言を聞いていて、今、目的をもって仕事をしているか見直す時になつて居る事を感じる。例えば、長年使用している機器に事故が起こった、事故の発生した場所は点検する様にマニュアルに記載されていません、マニュアルは誰が作成したのか、下請け、或いは機器製造メーカーの技術者です、我々はマニュアル通りに点検しているだけです。怖いですね、(目的もなく)マニュアル通りに点検しているだけです、いや(マニュアル通りに)点検するのが目的です。何処かで目的が間違っているのです。

小さい事柄をあまり気にせず、素直に技術的な事を批判出来る教授は日本には少ないだけに貴重な存在であり、はつきりした意見に反対も多いと思います。今回の目的を持った技術を要る技術に、それを大事に育たいたいと思

以上

鎌倉散策 ～寺巡りへのお誘い～

歴史探訪シリーズ第3回は、初秋の鎌倉寺巡りを企画しました。
鎌倉駅近くの古寺で、いずれのお寺も日蓮上人の縁のお寺です。

- 妙本寺 — 身延山久遠寺、池上本門寺と並ぶ日蓮宗最古の寺院
 本覚寺 — 身延山から日蓮の遺を分骨、「東身延」と称し格式の高さを誇っている。
 安国論寺 — 日蓮上人が「立正安国論」を草した岩窟や、小庵がある。
 妙法寺 — (苔寺) 安房から鎌倉にやってきた上人が身延山に入山するまで住んでいたと言われている。

尚、二つのお寺で説明をして頂く予定になっております。知っているようであまり知らない、遙か遠い偉人への知識が得られる事と思われまます。
皆様、お誘い合わせて是非ご参加下さい。

日時 平成16年10月24日(日) 小雨決行(5キロ弱歩きます)
 集合 JR鎌倉駅東口 13時集合 13時15分出発
 コース 妙本寺→本覚寺→安国論寺→妙法寺



11月講演会

日時 平成16年11月14日(日)
 14時～16時
 場所 神奈川学習センター 講義室

演題 「禅と心」

講師 藤田 茂光氏 初代同窓会会長

放送大学で学ぶ事の意義、本当の学ぶ事とは、
 如何にして自己確立するか、氏の20数年に亘る禅を通して「無」となり、「無」からみえてくるものとは・・・
 示唆に富んだお話をして頂けるでしょう。

映画鑑賞会&お話し

日時 平成17年2月27日(日)
 13時～16時
 場所 神奈川学習センター 講義室

プログラム

- ① お話「映画は楽しいですね！」
 ～シネマパラダイスあれこれ～
 講師 西浦 久晏氏 横浜映画研究会会員
 時間 13時～13時50分

- ② 映画鑑賞

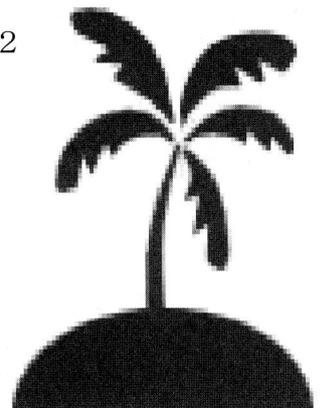
「シカゴ」2002年 アメリカ映画
 出演俳優 キヤサリーン・ゼタ・ジョーンズ
 リチャード・ギア 他
 第75回アカデミー賞6部門受賞
 ミュージカル映画の傑作です

時間 14時～16時00分

『企画だより』の問合せ先

大花 046(866)2195 大泉 046(848)3882

一人でも多くの同窓生と集える機会を作るために毎年企画をしています。
 是非、お気軽にご参加ください。
 又、何か企画にご提案などありましたらお教え下さい。
 参考にさせて頂き、よりよい同窓会にしたいと思っています。



身近な社会貢献への

参画について

社会貢献実行委員会 (仮称)

活動計画

前号の波瀾でご報告致しました、小学校教育ボランティア活動への登録を致しました結果、横浜市立相武山小学校での教育ボランティアへの参画が決定致しました。

募集内容:

まちの先生の力をかしてください
「子どもたちに、みなさんの知っていることを伝えてください。
みなさんとのふれあいの中で、子どもたちはきっと、みなさんの生き方を学び、自分をみつめていくでしょう。」

まちの先生は今後も随時募集し、担当できる内容を検討のうえ実施していく方針という事です。今回は実行委員で担当可能なものを登録致しました結果、十二月の通常授業時間に行なうコンピュータ学習を担当することにになりました。
放送大学同窓会とは他大学に見られない特色を有しております。
①同窓生の多くが卒業後も生涯学習を実践している。
②各分野で活躍されている人たちの集団である。
③利害関係を排し、職業、信条などの違いに捉われないことのない集団である。
④老若男女を問わない、ヨコのつながりと年代を超えたタテの人間関係の両面において親交がある。
このような特色を有する同窓会は、身近な社会の負託に応えていく力を

会計・事務局からのお詫び

前号の波瀾に同封致しました振込用紙において、一部の会員の方に入会者の振込用紙を同封してしまうという誤りがありました。ここに、お詫び申し上げますとともに今後は、この様な事がないよう十分に気を付けて参ります。

会計・事務局からのお願い

振込用紙の記入について：
住所・氏名を記入される際は、恐れ入りますが楷書での記入とフリガナの記載をお願い致します。

また、振込用紙で住所変更をされる方はお手数をお掛け致しますが「住所変更」と朱書きをお願い致します。

口座番号 00250-4-16183
〒232-0061
横浜市南区大岡2-31-1
放送大学神奈川学習センター内
神奈川同窓会事務局



「社会貢献実行委員会」(仮称)

五十嵐一成・大泉トク
佐々木順子・松岡和正
松本 修・龍造寺寛



神奈川同窓会 会長 五十嵐一成
090 - 2745 - 9406

平成十六年度役員

「同窓会 役員」

会長	五十嵐一成
副会長	片岡久雄・竹中司朗
事務局長	笠井政記
理事	片野克巳・大泉トク
理事	大花幸子・野末富美子
理事	椎橋秀光・頼成敦子
理事	梅本奈美子・松本修
理事	嶽山康則・北村祐子
監事	松岡和正・龍造寺寛

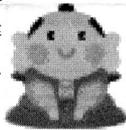
「退任 役員」

佐藤美津留 佐々木順子 尾澤昌子
和合明・福島三郎

(皆様長い間
ご苦勞様でした)

「フオスター・プラン実行委員」

五十嵐一成・稲葉恒夫・片岡久雄
坂本春江・藤井輝・星礼子
松岡和正・森西節子



計 報

次の方々の計報がご家族から
ありました。

三富 昭栄 様
(平成十二年 社会と経済)
山成 恵子 様
(平成七年 生活と福祉)
茲に、謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。
合掌

編 集 後 記

去年に続き今年も異常気象が続く、今更異常気象も珍しくなくなった今日この頃です。

イラクも暫定政権に委譲されたものの、爆破テロが依然続き国内治安は未だ不安定な状態が続いています。

日本国内はと言えば今年には年金問題に明け暮れると思いきや、次は郵政の民政化がやたらと姦しくなってきました。

何故か放大学院と同時に同窓会の役員になり、波瀾の編集を手伝ったのが運の尽き、来年の3月末、会社の卒業までには神奈川同窓会の役員を務める事になって

います。初めは今年ほど活き込むのではないが、編集となると、どうしても同じ様な記事になってしまいます。

今年には神奈川同窓会もHPの立上げを準備していますが、ここに来てサイバーテロとかハッカーとかの話が耳に入り、

何かとやる気を無くす様なニュースが聞こえてきますが、どこまでやれるか、将来に向かつて何時でも、何処でも、誰でも同窓会のニュースがお届け出来る様に努力をしています。今回はF・N嬢に頼まれて「はい」と言って、フライイング

よろしく、編集前記を書いてしまっ、これを後日修正しての編集後記としまし

た。

(S・T 記)